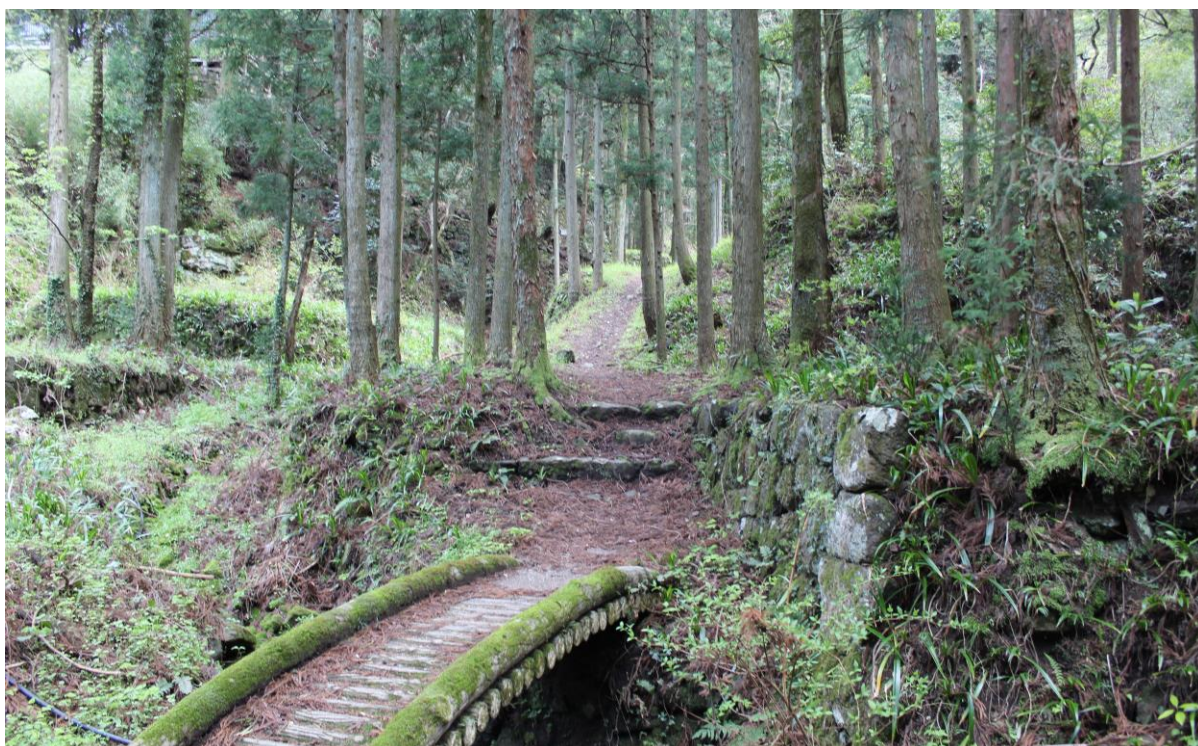


こぶやまだにちく 昆布山谷地区



昆布山谷の入口

昆布山谷は、仙ノ山の西側を南北方向に延びる谷です。石見銀山の中でも古くから開発された場所で、谷の入口には鉱山の守り神である金山彦命を祀った佐毘売山神社があります。平成22年から平成29年にかけて発掘調査を行い、選鉱や製錬など金属の生産に関連する痕跡の他に、建物の跡や、町を区画していた石垣、岩盤に掘りこんだ階段などがみつけられました。



岩盤を加工した階段

昆布山谷では谷筋に露出した岩盤に、階段や柱穴などを掘った跡が多く見つけられました。写真は幅2.4mの大きな階段で、尾根上の寺院に向かう参道の一部の可能性ががあります。



かつての町並みの跡

昆布山谷の谷筋は、かつては石垣によって道と平坦面が区画されていたことがわかりました。この石垣は、明治時代以降に発生した水害によって完全に埋没していました。